

京都大学男女共同参画推進センター

# 女子高生 車座フォーラム 2018報告

知ろう！語ろう！  
京都大学！

受験の前に京大の教育・研究を知り、  
研究者や大学院生・学部学生と  
みんな輪になって話しに来ませんか？

京都大学の  
受験を目指す

女子高生の  
みなさまへ

参加  
無料



2018.12.22(土・祝) 10:00-17:00

会場 京都大学国際科学イノベーション棟  
シンポジウムホール、他

主催 京都大学男女共同参画推進センター

共催 京都大学教育推進・学生支援部入試企画課

## ～女子高生・車座フォーラム 2018～

12月22日(土) 国際科学イノベーション棟シンポジウムホール等にて「女子高生・車座フォーラム 2018」を開催しました。このフォーラムは、男女共同参画推進センターが中心となり、女子高生に京都大学の研究者や科学者の仕事を知ってもらおうという企画です。今年で13回目の開催となり、高校生99名、保護者55名の参加がありました。今年度は、午前に大学紹介と女性研究者・卒業生の講演、午後にグループワーク、保護者と京都大学学生との交流会・入試の説明がありました。

今村 博臣男女共同参画推進センター広報・相談・社会連携事業ワーキンググループ主査の司会進行のもと、はじめに、稲葉 カヨセンター長、理事・副学長より開会の挨拶がありました。「京都大学は、『いきいきと輝けるような大学に』という意味を込めて WINDOW 構想の心を持っています。今、京都大学の人々がどんなことをしているのか、京都大学とはどんなところなのか、いろんな方面から知っていただきたい。そして夢と希望をもって、ぜひ京都大学に来ていただきたい。」と話し、最後に「今日一日みなさんにとって、有意義な一日であることを祈っています。」と開会の挨拶を締めくくりました。

次に北野正雄理事・副学長が京都大学について紹介をしました。WINDOW 構想に掲げる6つの目標をあげ、「野性的で賢い学生を目指してほしい。」と話しました。京都大学の10学部について説明した上で「大学院にいくということを視野に入れてほしい。4年で終わるのはもったいないので、ぜひ研究をしてほしい。」と述べ、最後に「自分がやりたいこと、行きたいところを自分自身で決めてほしい。大学での女性の活躍が目立っています。ぜひいろんなことにチャレンジしてほしい。」と高校生を激励しました。

### 【女性研究者の講演】

地球環境学堂の岩谷彩子准教授が「女性と仕事—ロマ/『ジプシー』研究と私」の題で講演を行いました。岩谷先生は、「古本屋で手に取った『ジプシーの魅力』という本に魅了され、翻訳された人に直接会いに行きました。」と文化人類学との出会いや、「ジプシー」/ロマ移動の歴史、ロマ女性の結婚の早さや結婚時に重視される「処女性」などのロマ社会における女性の地位について説明しました。

また、自身が出会ったインドのカールベリヤー女性とトルコのロマ女性2人のダンサーとしての人生やギリシャのロマ女性について紹介しました。最後に、「私自身、育児や家事や研究など、さまざまな制約下で研究を行っています。それでも持続的にフィールドで人々と対話を続けるなかで、カテゴリーを超えた単独の個人に出会い、人との出会いによっていろんな方向にひらかれうる人間のあり方について探求していきたいと思います。」と話しました。

### 【卒業生の講演】

法学部卒業生である高島菜芭さんが「私と京大の4.5年間」の題で講演を行いました。「1・2回生の時に、国際交流プログラムを通じて様々な人とつながり、3・4回生になると自分のビジョンを探し求めるようになりました。イギリス留学をきっかけにジェンダーに興味を持ち、ロンドンのNGOや東京の国連機関でインターンをする中で、性暴力についてアプローチをしたいと考えるようになりました。」と自身がジェンダーに関する活動をするようになった経緯について話しました。「5回生になると、自分で起業したいと思うようになりました。性暴力で苦しむ人を少しでも減らしたいという思いから、ジェンダーハンドブックを作成し、性的同意の概念を広める活動を始めました。」と述べました。

最後に、「自分の興味関心に関係なく、様々な人と対話をして視野を広げてほしい。自分のやりたいこと、夢中になれることを探してほしい。そして自分がやりたいと思ったら、積極的に何事にも挑戦してほしい。」と高校生へメッセージを送りました。

### 【グループワーク】

<高校生：講師・京大生とのグループワーク>

高校生は希望学部別のグループに分かれ各部屋に移動し、グループワークを行いました。事前に高校生が記入した質問用紙をもとに、学生は受験勉強や学生生活といった実体験を語り、研究生生活や専門などについては講師が回答しました。質疑応答以外にも活発な意見交換が行われ、非常に内容の充実したグループワークとなりました。

<保護者：京大生との交流>

高校生がグループワークに参加している間、保護者は京大生との交流会に参加しました。

稲葉理事の挨拶の後、保護者から京大生へ学校生活や学部などについて疑問に思うことを質問し、学生が回答しました。（詳細は次ページからの報告をご覧ください）

### 【まとめの全体会】

グループワーク終了後は再び全員で集まり、まとめの会を行いました。佐藤 亨男女共同参画推進本部支援室長の司会進行で、それぞれのグループで話し合った内容を報告し、他のグループでの話し合いについて情報共有しました。続いて、教育推進・学生支援部入試企画課より、平成31年度学生募集要項についての説明があり、アドミッションポリシーや入試についての説明がありました。

車座フォーラム閉会後も、入試企画課と学生が残り、女子高生からの質問に丁寧に対応しました。（詳細は冊子後半をご覧ください）

～保護者と京大生の交流～

質問1： 女性学生へ質問。高校2年の娘ですが炊事や家事が全くできません。合格した時にどのように一人暮らし、下宿について決めていったのか教えてください。

学生： 私は高校までは全く家事全般をやっていませんでした。大学合格発表後引っ越しまでの20日間、母親のそばについて料理や掃除の仕方を学びました。学生マンションで食事つきのところがあったり寮とかもあるのでそういうところに入るのもいいかなと思います。

質問2： 京都大学は自由な校風であるとお聞きしましたが、京都大学に入って自由だなと実感することはどんなことですか。  
中高生の間は学校で勉強していたことが将来どう活きるのか疑問を持っているようです。みなさんが大学生になって中高生時代の勉強が活きてるな、と実際に感じる事があれば教えてください。

学生： 法学部の学生です。他の大学は入学したときに法学か政治学かの専攻を決める大学が多いと思うのですが、京都大学は入学時の専攻は決めなくていいです。そのあたりが自由だと思います。なので私は2年の時に決めました。

高校時代の勉強がどう活きているかですが、私は海外旅行がとても好きなので高校時代の世界史とか地理の知識とかがあると友達とかに教えてあげられたりできるので役立つなと思います。数学が直接めちゃくちゃ活かされてることはないですが思考回路、論理的な思考力が法学部の勉強にも役立つなと思います。

学生： 工学研究科修士2回生です。自由さというのは選択肢の多さと言えると思います。そういう意味では京大は蔵書の量が多くそれを全学生が借りられる状況にあるということも自由度が高いと言えます。

高校時代の勉強がどう活きているかという質問ですが、僕は化学をやっているので理科・数学・英語に関しては直接役立っています。古文や漢文は進路に直接活かせるわけではないですが教養としてあっていいと思います。知らなければ得られない知識はたくさんあります。趣味の選択肢が広がると思います。学問というよりは人生の役に立つ。こんな感じで回答になっていますか。

質問3： うちの子はまだ高1なのですが、進路に悩んでいて全く決められていません。  
みなさんはいつ頃進路を決められたか、どのように決められたのか教えてください。

学生： 理学部の学生です。理学部の受験を決めたのは高3の11月でした。理系というのは決めていましたがその後のイメージが全くありませんでした。高2の時に物理と生物を選択しないといけませんが物理の方が受けられる学部が多いので物理を選択しました。農学部にも興味がありましたが、なぜ理学部に決めたかという選択肢が広がったからです。そこも京大の良い所だと思います。なかなか進路を決められないのであれば、しっかりと勉強を続けて進路を後で決められるような選択肢の広いところを選ぶというのもありだと思います。

学生： 僕は東京都出身です。高1の時には東京外国語大学を受験し、中国語を勉強しようと思っていました。高2の第二外国語選択で中国語を選び、これをずっと勉強するのは大変だと感じました。同じ時期に倫理の授業で心理学の先生に出会い、その分野に興味を持ちました。自分の中で独り立ちをしたいという思いもあり、受験する大学を調べ京大の教育学系にしようと思っていました。

最終的に決めたのは高3のオープンキャンパスの直後です。僕は直前で全く別の進路に変えたのですが、早い段階で絞って進路を決めるよりも、柔軟に対応しながら決めるのがよいかと思います。

質問4： 高2の娘がいる母親です。娘からすると京都大学には人間的に豊かな人が多いとイメージしているようで京大に行きたいと思っています。ただ、部活や習い事バレーをしているので時間がないので塾には通わず勉強しています。高3までバレーをしておそらく夏ごろまでは続けながらの勉強となるので受験に切り替わるのが遅い、と悩んでいます。何かアドバイスを頂けたらと思います。

それと、先ほど研究者の話がありましたが、どのくらいの方が研究者について考えてらっしゃるのかも聞かせたいです。よろしくお願いします。

学生： 私は高3の夏どころか大学1回の春まで、というか並行して演劇をやっていました。他の人と比べても24時間寝ずに勉強しています、という人はいないと思います。部活などを続けていても他の部分でメリハリをつくれればいいし、オンとオフをしっかりとつけられればいいのではないかと思います。体を動かせる機会は自分自身とてもよかったと思っています。

学生： 私は高3の夏まで音楽をやっていました。朝練・昼練・放課後と部活動はあり、秋の文化祭の発表に向け夏も学校で練習をしていて塾にも行けませんでした。もちろん不安もあったけど、高校3年間でできることは限りがあるし、その時にしか得られないものもあると思います。

娘さんがバレエを中途半端にあきらめるのは後々後悔すると思うし、私もやってよかったと思っただけで、終わった後にしっかりと切り替えられたので、そんなに心配することはないと思います。

学生： 現在4回生です。春から大学院に行き研究者になることを考えています。修士課程から博士課程に進む予定です。もともと研究者になるということは全く考えていなかったです。大学は22で終わるのにそのあと何年もやらなくてはならない、そんなに勉強も好きではなかったです。

でも、大学で専門的な勉強ができて好きなことをずっとやっていると、4年で終わらせるのはもったいないと思い、どんどん専門性が高くなっていく大学院にいかうと思いました。

学生： 僕は修士2回です。企業の内定が決まっているのでそこで研究をしていくことになります。

ものを作りたいという思いがあり、それがやれる団体が学校ではなく企業でした。

質問5： 高校1年の娘がおります。京都大学を目指して勉強しています。大学生になり京都の町中での大学生活ができるのか不安を感じています。最近ニュースでは観光客が多すぎてバスに乗れないなど聞いたりします。女性の一人暮らしで不便を感じることはありますか、どのように対応しているのかも教えていただければと思います。

学生： 私の場合は最近震度5の地震があった時にガスが止まってしまい、どうしたらいいかわからず困りました。これは男女問わずに困ることだとは思いますが。私は物件を選ぶときに不動産屋さんが緊急時に24時間対応してくれるようなところを探したので、不動産屋さんへ電話して相談させてもらいました。物件探しの時にそのあたりも考えるのもいいのかなと思います。

学生： 京都での一人暮らしの不便さですが、京都のすべてが観光地ではないので京大周辺に観光客が多くいるわけではないです。暮らしていくうちにこの時間のこのバスに乗ったら混んでいるからだめだとかがわかってくるので、生活に不便を感じることはないです。

京都は狭い町なので徒歩や自転車での移動もできて、全くバスなどに乗らないという学生もいます。

質問6： 高3の娘がおります。3つほど質問があります、わかる範囲でいいのでお答えいただければと思います。1つ目、娘は高2の丸1年間海外に留学しておりました。帰国後は国語以外の教科はネイティブの先生に授業をしてもらっています。みなさんの中で高校時代に留学をしていて京大を受験した方がいれば、どのようにして受験をしたのか教えてください。

2つ目は、法学部を目指しているの京大法学部の特有のものがあれば教えていただきたい。

3つ目は、就活はいつから始めるのか、企業選びはどのようにするのか、わかる範囲で教えていただきたいです。よろしくお願いします。

学生： 2つ目の質問にお答えします。京都大学の法学部には法曹志望の人が多く司法試験を受ける人が他の大学に比べて多いと思います。4分の1くらいが法曹志望じゃないかなと。さっきも話したように最初に専攻を決める必要がないのも特徴で、有名教授も多いのでレベルの高いゼミを受けられます。

センター長： 1つ目の質問に関してですが、お配りした入試説明書3ページにあるように法学部と経済学部では外国語受験での入試で10名程度募集しています。

学生： 2つ目の法学部に関してですが、東大と京大はよく対比されます。東大は官僚養成のため、京大は研究のために立ち上げられたと言われていています。京大は法曹志望の人が多いですが官僚志望の人もいますし、企業に就職する人もいます。

学生： 工学部を卒業し、工学研究科で今就活をしています。基本的に研究職と文系職との就活は違います。研究職の場合は、研究発表をして合否が決まる。そんな感じです。法学部には関係なく参考にならないですね。

学生： 農学部ですが、文系に交じって学部選抜で文系就活をしました。一般的には3回生の夏にインターンが始まり行く人行かない人分かれるんですけど、そのあとも繋がって企業からの囲い込みがあって、春ごろ内定が出るというパターンがあります。僕の場合は、規程とかに関係ない企業だったのでインターン終わってすぐに内定をもらいました。それとは別に公務員を考えていて採用とは関係ないですが、夏ごろインターンがあってそこでいろいろ知って説明会に行って、いろんな人と仲良くなって情報を得て、試験を受けてまた試験を受けて、面接を受けて官僚になる。公務員に関してはこういうパターンです。

年によって違ったりもしますのでどこまで参考になるかがわかりませんが、文系の就活に関してはこんな感じです。

質問7： 医学部医学科の学生さんに質問です。娘は医学部を志望しています。医学部のみなさんはなぜ京都大学の医学部を目指されたのでしょうか。理由をお聞きできればと思います。

学生： 私は富山県出身です。地元の富山大学にも医学部はあります。前期は京都大学の医学部に後期は富山大学の医学部に出願していました。周りの友達も地元の富山大学の医学部を目指すといっていました、地元で医者をするなら地元の大学の方が有利ですし、医学部で学ぶ内容はそんなに差があるものではありません。どこでも同じ内容を勉強して最終的に国家試験に合格しないと医者にはなれないので、私も富山大学でもいいかなとったりしていました。

京都大学の医学部に決めたのは高校2年生の時に、それまでは東京大学の文系を志望していて文理でも悩んでいました。高校2年の時に世界を動かすなにかがしたいな、国際機関で働けたらいいなと思っていたので東京大学の文系に行こうと考えていました。と同時に医学で世界を変えるというのもかっこいいなとっていて、医者になるか文系に行くかで迷っていました。京都大学のオープンキャンパスでたまたま医学部の学生さんの話を聞いたりして、自由な校風を目にして京都大学が私に合っているんじゃないかなとほれ込んだというか、京都大学の医学部を選んだという感じです。

京都大学の医学部はキャンパスがほぼ同じところであって、他の大学では医学部だけ離れたところがあったりするんですけど。全学共通科目で他の学部の人たちと一緒に受けたりとか、サークルとかも一緒になれたりとか交流の場がたくさんあります。私は文系にも興味があったので、一般教養の時の授業でも刺激を受けゼミにも参加させてもらったり視野が広がりました。

医者になるだけでなく人間的に豊かになりたい、いろいろ見てみたいと思うのであれば総合大学である京都大学がいいのではないかと思います。

質問8： 高校2年生の娘がいます。京都大学に憧れて勉強しています。現在スランプに陥っています。もしスランプに陥ったことがあればどう乗り越えていったか、また、その時の家族に望むことと望まないことはどんなことか。受験時代を振り返って教えていただきたいと思います。

学生： スランプは感じたことはあります。陥ったというよりは気づいたという感じです。模試においてしっかり全国での自分の立ち位置を確認していなくて、というよりも自分の力を過信していて、受験を見据えた時期にやっと模試での自分の立ち位置を確認した時に、いかに自分が出来ていなかったかを知ったので、ある意味スランプに陥ったというか気づきました。

スランプを感じているということは、裏返せば自分の出来ていないことに気づいているということなので、そこを重点的にやっていけば必ずいい結果につながるのではないかなと思います。家族には極力見守ってほしいと伝え、そのようにしてもらいました。



出来ていないことは自分が一番気づいて知っているので、信頼して見守っているというのがいいと思います。

学生： 私も高3の時には京都大学には行けないかなとか、かなりしんどかった思いはありました。同じ高校の同級生もみんなそうだったので支え合っていました。

大学に入った後も勉強が大変でしんどかったですが、未来のしあわせを想像して頑張っていました。模試の結果とかも京都大学に入れなくても、レベルの高い大学を目指すのはいいことだと思っていたので、高3の受験直前までは受験校を決めなくてもいいかなと思います。

私の両親はたとえば「京都大学に行きなさい」とかと言うことは全くなくて、強要されたことはないで私は受験勉強を自発的にできました。先ほどの方と同じで親には見守っていてほしいと思います。

学生： スランプについてですが、成績というのは急には上がらないもので螺旋階段みたいに少しずつ上がっていきます。今勉強している成果は模試には後から現れるので、頑張っているのになかなか伸びないと思わず我慢して少し先を見ていけばいいと思います。私は数学が苦手で、できないできない、と思っていたのですが、今から思えば漠然とできないとだけ思っていただけで、もっと丁寧に見てここは少しできるようになったな、とかそんな風に丁寧に見て行ってほしいなと思います。

保護者にしてもらいたいことはみなさんと同じで、ただ見守ってほしいということだけです。見守ってくれている人がいるというだけで励みになるので、何をしたらよくて何をしたらだめなんだらうとか、そんなにひるまなくてもいいと思います。

～まとめの全体会～（各学部教員からの報告）

（文学部）

受験勉強の仕方や大学の仕組みについて質問が多くありました。卒業論文というものはどういったものか、専門を決めるといのはどういうところに注目して決めていったらいいのかなどです。その中で印象的だったのは、大学の文学部というのは将来の職業を見据えるタイプではなく、純粹に人文学のある研究をしたいと思って入る学部であるから、高校の勉強の英語や国語、歴史をどうやって繋げて考えていったらいいのか、という質問でした。

質問に的確な答えを出せていたかはわかりませんが、京大の良さと京大で学ぶ意義をしっかりと伝えられていればいいなと思っています。

（教育学部）（経済学部）

入試の勉強をどういう風に始めたらいいか、学生生活、就職についての質問をたくさん受けました。京大の「おもしろい」とは何か？と質問があり、大変興味深い質問に私自身考えさせられました。「おもしろい」とは漫才などのおもしろいとは違う。好奇心と関係があって主体性をもって問いをたてる、わくわくする体験をする、そういったところは京大の良さではないかと話しました。

（法学部）

話の中心は受験勉強の方法でした。受験勉強というのは大学入学が目的ではなく、大学に入学した後学部の中で何を勉強したいか。その目標を持って勉強するのがよいと学生さんからアドバイスをもらえてよかったなと感じています。法学部の勉強については、法学・政治学を自由に選択でき幅広く勉強できるのが京大法学部の強みであるといった話もしました。サークル活動についての話も出てきましたし、大学では学問を学ぶだけでなくどういった知的好奇心を満たすか、どのように人的交流を持つか、などいろいろな情報交換の場となりました。

（理学部）

受験についての話が多かったです。その他は研究者の生活についての質問を受け、それについて話をしました。理系は女子学生の活躍ができる場だと思っているので、このように女子学生と話すことが出来てよかったと思っています。ありがとうございました。

（医学部 医学科）

どのような受験勉強の仕方がいいのか、一日の生活、卒業後の進路について、留学について、研究についての質問を受けました。入学に関する質問だけでなく、卒業して後に研究者や医者になってからの将来の展望などを聞かせていただいて大変勉強になりました。

(医学部 人間健科学科)

とても楽しい時間を過ごすことが出来ました。2年生の秋になってから、看護カリハビリかなど選択ができるようになったという制度についての話をしました。京都大学で国家資格をとる、ここでこそ学べる付加価値について、人生の選択を広げることについてメッセージを伝えました。

(薬学部)

大きく入試制度が変わったので新しい入試制度、授業カリキュラムの変更について説明しました。薬剤師育成コース、研究者育成コースがあるので詳しく説明をしました。特色入試で入学した学生さんから特色入試についての体験を話してもらいました。

(工学部)

工学部らしい質問が多かったです。学科の違いについて、学科ごとの就職先について、など細かい質問が多かったです。工学部は、女子が少なくなじめるのか？との不安の質問がありました。女子にとっての工学部の魅力は？との質問に、数が少ないからチャンスがある！という風に答えさせていただきました。

和気あいあいと楽しい時間を過ごせました。ありがとうございました。

(農学部)

研究職を目指したい人が半分ほど占めていたので、研究内容や研究生活についての質問が多くありました。こちらから「どんなことを将来研究したいですか？」と質問すると、森林、環境問題、身近な植物、細胞の仕組み、などの答えがありました。現在の農学部は多様化して細分化してきているので、こういった学科ではこういう研究が出来ますよ、とアドバイスをしました。

(総合人間学部 文系)

大きくわけて2つの質問がありました。前半は大学に入学後どのような勉強ができるのか、後半は大学に入るまで何をすべきか、ということでした。全体を通して活発に意見が出たのが留学についてでした。留学に非常に関心を持たれている人が多い印象を受けました。

このフォーラムについてなのですが、なぜ女子高生をターゲットにしているのか、なぜピンク色のチラシなのか、など面白い意見が聞けました。

(総合人間学部 理系)

必ず聞かれることなのですが、総合人間学部とはいったい何をする学部なのか？という質問がありました。文系、理系と入り口はあるが入学後に自由に選択出来、いつでも進路変更できるという特徴を話しました。そこから、自由とは何か？などにも話が及びました。将来選択についても話をしました。

(文責 男女共同参画推進センター)